

安全保障理事会議長声明

「アフリカにおける平和と安全」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年5月5日に開催された、安全保障理事会の第6118回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を發した。

安全保障理事会は、二、三のアフリカ諸国において非合法的な政府の交代が再び発生したことに深い懸念を表明する。安全保障理事会は、このような出来事に伴って発生しうる暴力と同時に、人々の経済および社会的な福利並びに影響を受ける国々の開発に対する否定的な影響に懸念を表明する。安全保障理事会は、公開で透明性のある選挙を通してを含め、速やかに憲法的秩序を回復する重要性を強調する。

安全保障理事会は、その国際の平和および安全の維持に関する主要な責任をくり返し表明し、また、平和と安全の維持に関連し、国際連合憲章第8章に一致し、地域的および準地域的機関との協力が集団安全保障を改善できることを想起する。

安全保障理事会は、アフリカ連合および準地域的機関による、安全保障理事会の決議および決定と一致した、アフリカにおいて紛争を解決し、人権、民主主義、法の支配および憲法的秩序を促進するための継続した重要な活動を歓迎する。

安全保障理事会は、危険な政治的な下降と民主的な手続きに対する深刻な後退を構成するだけでなく、該当する大陸の平和、安全および安定に対する脅威を及ぼしかねないと結論付けたクーデターの再発に対するアフリカ連合の懸念と非難を表明した2009年2月1日から3日に開催されたアフリカ連合の第12回通常総会の決定をも歓迎する。

さらに安全保障理事会は、アフリカ連合および準地域的な機関により取られた非合法的な政府の交代を防止する手段を歓迎する。